

コースコード : DO-DSOF

税込価格 : 145,200円 (税抜価格 : 132,000円)

日数 : 2日間

ここに注目!!

DevOpsのセキュリティ戦略やビジネス上のメリットなど、DevSecOpsの目的、メリット、コンセプト、語彙などを学びます。

受講対象者

このトレーニングはこのような方におすすめです。

- ・ DevSecOpsの戦略や自動化に関わる方、興味のある方
- ・ 継続的デリバリーのツールチェーン・アーキテクチャに関わる方

前提条件/前提知識

このコースを受講する前に受講者が習得しておく必要がある知識およびスキルは次のとおりです。

- ・ 一般的なDevOpsの定義と原則に関する基本的な知識があること

目的

このコースを修了すると次のことができるようになります。

- ・ DevSecOpsの目的、利点、コンセプト、および語彙の理解
- ・ DevOpsのセキュリティ対策は他のセキュリティアプローチとどう違うのかについての理解
- ・ ビジネスに直結したセキュリティ戦略とベスト・プラクティスの理解
- ・ データおよびセキュリティ・サイエンスの理解と応用
- ・ 企業のステークホルダーをDevSecOpsの実践に組み込む
- ・ 開発チーム、セキュリティチーム、運用チーム間のコミュニケーションの強化
- ・ DevSecOpsの役割とDevOpsの文化や組織との相性の理解

アウトライン

DevSecOpsの成果の実現

DevOpsの起源

DevSecOpsの進化

CALMS

「3つの道」



サイバー脅威の定義

サイバー・スレット・ランドスケープとは？

脅威とは？

何から守るのか？

何を守るのか、そしてその理由は？

どうやってセキュリティに相談すればいいの？

レスポンスなDevSecOpsモデルの構築

デモンストレーションモデル

技術的、ビジネス的、人間的な成果

何を測定しているのか？

ゲーティングとスレッシュホールド

DevSecOpsのステークホルダーの統合

DevSecOpsの心構え

DevSecOpsのステークホルダー

誰にとって何が問題なのか？

DevSecOpsモデルへの参加

DevSecOpsのベストプラクティスの確立

スタートオブザイヤー

人、プロセス、技術とガバナンスの統合

DevSecOpsの運用モデル

コミュニケーションの方法と境界線

成果にこだわる



始めるためのベストプラクティス

「3つの道」

ターゲットとなる国を特定する

バリューSTREAMを中心とした考え方

DevOps パイプラインと継続的なコンプライアンス

DevOps パイプラインの目標

継続的なコンプライアンスが重要な理由

アーキテクトタイプとリファレンスアーキテクチャー

DevOps パイプライン構築の調整

DevSecOpsツールの分類、種類、例

成果を使った学習

セキュリティトレーニングのオプション

ポリシーとしてのトレーニング

体験型学習

クロススキリング

DevSecOpsの集合的な知識体系

DevSecOps Foundation認定試験への準備